

第376回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和5年6月1日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

木々の緑が美しい季節となり、特産「山田錦」の田植えが最盛期を迎えるなか、次第に三木の姿も夏模様へと変わりつつある本日、第376回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ご多用のなか、ご参集をいただき、ここに開会の運びに至りましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

本日は、早朝から毎年6月の恒例として、三木建設業協会の皆様と市の協働により、市内の道路などに捨てられたゴミの収集活動「クリーン作戦」を実施しました。三木を愛する皆様の心温まる活動に対しまして、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

さて、5月29日に開催しました総合教育会議において、市の小中一貫教育に係る方向性について教育委員会と協議を行い、施設一体型小中一貫校を設置することとし、まずは吉川地域に設置する方針を決定しました。三木の子どもたちに、学力をはじめ、共に生きる

力、健やかな心と体を育むため、施設一体型小中一貫校を設置し、より質の高い教育を実現します。すべての子どもたちがふるさと三木を愛し、子どもや子育て世代が集うまちづくりを進め、我が子の教育は三木で受けさせたいとお願いいただけるよう、施設一体型小中一貫校の設置に向けて進めてまいります。

去る5月22日には、三木市が「SDGs未来都市」に選定されました。SDGs未来都市とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市の中から、特に経済・社会・環境面の三つの側面における新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市として、国が選定するものです。三木市は、今年度選定された全国28自治体のひとつであり、兵庫県内では、三木市を含め、これまで9自治体が選定されています。本市の提案内容は、まちの将来像を「誇りを持って暮らせるまち三木」とし、市民・議会・企業・団体・行政が一体となった「チーム三木」による協働のまちづくりを進め、それぞれの力を連携し、自立的好循環を生み出していけるようなまちの実現をめざすものです。特に、市として注力する先導的取組として、郊外型戸建住宅団地が抱える人口減少、高齢化、空き家等の課題解決のため、産官学民協働による「青山7丁目団地再耕プロジェクト」を進めています。このプロジェク

トは、SDGs の目標の1つである「住み続けられるまちづくりを」の実現をめざし、若い世代の流入促進や高齢者の住み替えを促進し、多世代の住民が快適に住み続けられるまちづくりに取り組むものです。産官学民協働による実証実験を通じて、全国に先駆けた先進モデルの創出に挑戦してまいります。

このたびのSDGs未来都市の選定を受けて、本市では、SDGsの基本的な視点である「誰一人取り残さない社会」という観点のもと、すべての市民が、将来にわたって自分たちの希望する暮らしや活動を営むことができるよう、チーム三木が一丸となって「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現をめざします。

また、2025大阪・関西万博において、兵庫県では、地域の特色を生かした県内の地場産業や伝統工芸などの現場そのものを体験していただく取組として「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開することとしています。このフィールドパビリオンを構成するSDGs体験型地域プログラムとして、三木の地域資源を生かした体験型プログラムが6件認定されたところです。これらは、三木の特色である「防災」、「金物」、「山田錦」をテーマとした地域資源やモノづくり、人に触れる体験型のプログラムであり、2025大阪・関西万博を契機として、三木の魅力を発信し、市内への誘客につなげてまいります。

さらに、令和6年7月1日に市制施行70周年を迎えるに当たり、記念事業として「三木の祭り屋台大集合」の実施に向けて進めてまいります。市制施行70周年という記念すべき節目の年を、市民の皆さまと一緒に祝い、盛り上げたいと考えております。三木市が誇る文化資源「祭り屋台」が一堂に集い、交流し、ともに祝いすることで、人と人とのつながりを深めるとともに、次世代に文化を継承し、市の活性化につなげてまいります。市制施行70周年を全市を挙げて盛り上げ、祝うことで、未来へとつなぐ持続可能なまちづくりを推進し、「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現をめざします。

3月には、神戸電鉄三木駅下り駅舎及び駅前広場が「ひょうご県民ユニバーサル施設」に認定されました。兵庫県内で33施設が認定を受けており、三木市では三木市立中央図書館に次いで2例目となります。新たな三木駅舎は、多くの皆さまの温かいご支援を受け、誰もが利用しやすい環境を整え、交通結節点としての利便性を高め、公共交通の利用促進を図ることを目的に整備を行いました。障がいのある方などが利用する駐車スペースの路面塗装の色がわかりやすいこと、黄色の誘導ブロックが見やすいこと、標識、サインの文字の大きさや色が統一され、わかりやすいことなど、整備内容が

評価され、認定を受けました。引き続き、誰もが利用しやすく、親しまれる三木駅として、運営・管理に努めてまいります。

最後になりましたが、このたびの市議会定例会におきましては、条例の一部改正が3件、補正予算1件、その他 1 件の併せて5件の提案を予定いたしております。

また、後日、人事案件1件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、十分なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつといたします。